

平成 23 年 11 月 10 日 (木)、湖西市の大知波国有林にて国有林現地見学会を実施しました。

「国有林現地見学会」は、一般の方々に国有林に実際に足を運んでいただき、実施している業務や現場を見て・知っていただくイベントとして開催しています。当日はあいにく小雨が降るお天気となりましたが、約 20 名の参加者の方々とともに、国有林内を歩きながら植物観察や事業の説明を実施しました。

国有林現地見学会

まずは、国有林についての説明から...



当日はまず、国有林についての説明からはじまりました。

- ・天竜森林管理署の業務について
- ・国有林とは何で、どのように管理しているか
- ・森林の働きについてなどの説明をさせていただきました。

植物観察に出発!



今回は森林インストラクターの藤田泰さんを植物観察の講師に招き、国有林内の樹木や草花の観察をしました。とても豊富な知識を持っている藤田さん。藤田さんの話を聞きながらの山歩きは、新しい発見がたくさんありました!



まず見えてきたのは、もともと段々畑(田んぼ?)だった場所が森林になっている珍しい場所。石垣などが今でも残っていて、当時の様子が想像できます。



前日、植物の名前が分かるように、歩くコースの樹木等に名前を貼って準備しました。この木はカゴノキといいます。樹皮がシカの子供のように斑点になっているが特徴です。



ヒノキ人工林の中を抜けて...



歩いていくと、面白いものを発見。これは何でしょう?実は、コゲラ(小さいキツツキ)が木に穴を開けた跡です。林内には動物の形跡がたくさん!



歩き始めて1時間半...大知波廃寺跡地に到着。ここは、平安時代に建てられた山寺の礎などが残っており、当時の建物の配置などが分かります。この場所で、昼食をとりました。最後に、湖西連峰の植生などのお話をし、山を下りました。

国有林探訪スタディウォーク

～北遠を歩く編～

平成 23 年 12 月 19 日 (月)、浜松市天竜区春野町の京丸自然観察教育林(レクリエーションの森)にて、「国有林探訪スタディウォーク」の第3回目となる「北遠の森を歩く」を開催しました。当日は 27 名の参加者の方々と当署職員 2 名で、京丸自然観察教育林の散策や「木の測り方」体験、また午後には教育林付近の人工林において鳥獣被害対策箇所の見学を行いました。

開会式



あたたかな日差しの中、開会式がはじまりました。国有林の概要や京丸自然観察教育林の説明をさせていただきました。

木の高さを測ってみよう!



開会式を終え、まずは「木の測り方」体験。測るのは、樹齢 144 年生の人工林のなかにあるひときわ大きなヒノキ!測定前にどのくらいの高さか皆さんに目測で測ってもらいました。(正解者には天竜の FSC 材でつくった湯玉をプレゼント!みなさんの目測、結構鋭かったです。)その後、パーテックスという測定器を用いて、実際に測定していただきました。

教育林を散策

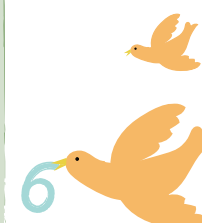


広葉樹はほとんど落葉してしまっていて残念でしたが、植物観察や森林についての話をしながら教育林を散策しました。みなさん途中にあった間伐の標準地に興味津々。そこで、間伐調査や木材搬出の説明など林業についてのお話をさせていただきました。

鳥獣被害対策箇所の見学



午後は、教育林付近の熊の剥皮被害防止対策をしている箇所を見学していただきました。「リンロンテープ」というナイロンのテープを樹木 1 本 1 本に巻きつけてある様子をみていただき、被害の実態や対策の効果について説明させていただきました。



天竜だより

発行: 2012 年 3 月 23 日

関東森林管理局 天竜森林管理署 森林ふれあい係

両イベントに参加して下さった皆様、どうもありがとうございました。